

コンタクトフィルム

(1ヵ月交換終日装着ソフトコンタクトレンズ)

【警告】

- コンタクトレンズをご使用前には、必ず添付文書をよく読み、表現や内容でわからないところがあれば必ず眼科医に相談し、正しくご使用ください。
- 添付文書は大切に保管して下さい。
- コンタクトレンズは目に直接のせて使用するものです。コンタクトレンズやケア用品の取扱方法を誤ると、角膜潰瘍などの重い眼障害につながることもあります。コンタクトレンズを安全に使用するために、必ず添付文書をよく読み、眼科医の指示に従い、正しい取扱方法を守ってください。

【特にご注意くださいこと】

1) レンズの交換サイクルを守ること

本品は1ヶ月交換終日装着ソフトコンタクトレンズです。眼科医の指示に従い、使用期間内(1ヶ月以内)に新しいレンズと交換してください。

2) 装着時間を正しく守ること

レンズの装着時間には個人差があります。眼科医に指示された装着時間を必ず守り眠るときは外してください。

3) 取扱方法を守り、正しく使用すること

レンズやケア用品の取扱方法を誤ると眼障害につながる場合があります。レンズやケア用品(特にレンズ保存ケース)は常に清潔に保ち、正しい取扱方法を守ってください。

4) 定期検査は必ず受けること

自覚症状がなく調子よく装着していても目やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくても眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

5) 少しでも異常を感じたら、直ちに眼科医の検査を受けること

レンズをつける前に、毎日、ご自分で眼ヤニや充血がないか、またはレンズをつけた後も異物感などを確認し、少しでもこれらの異常を感じたら装着を中止し、すぐに眼科医の検査を受けてください。

6) 破損などの不具合があるレンズは絶対に使用しないこと

装着前に、レンズに破損などの不具合がないか必ず確認し、不具合が認められたレンズは絶対に使用しないでください。異常のあるレンズを使用すると眼障害につながる場合があります。

7) 装着中にレンズが破損したら、直ちに眼科医の指示に従うこと

万一、装着中にレンズが破損した場合は直ちに装着を中止し、異物感や痛みなどの自覚症状がなくても、すぐに眼科医の検査を受けてください。

8) 他人とのレンズの貸し借りはしないこと

レンズの貸し借りをすると感染症などの眼障害を引き起こす危険性がありますので絶対にしないでください。

9) MRI検査時はレンズをはずすこと

本品は金属製の着色剤を使用しているため、金属アレルギーの方は眼科医にご相談ください。また、MRI検査を受ける際は必ずレンズをはずしてください。

【禁忌・禁止】

コンタクトレンズを使用できない病気や環境があります。ご使用前に必ず眼科医に相談し、以下の病気の有無や環境についても確認してください。なお、医師の指示や添付文書の指示を守ることができない方もコンタクトレンズの装着に適していません。

<医学的禁忌例>

- 前眼部の急性および亜急性炎症●眼感染症●ぶどう膜炎●角膜知覚低下
- 眼瞼異常●角膜上皮欠損●涙液分泌量の不足(ドライアイ)●レンズ装着に影響を与える程度のアレルギー疾患●その他医師が装着不適と判断した疾患

<生活習慣的禁忌例>

- 医師の指示に従うことができない場合●レンズを適切に使用できない場合
- 定期検査を受けられない場合●必要な衛生管理を行えない場合●極度に神経質でコンタクトレンズの装着に向かない場合

<生活環境的禁忌例>

- 常時、乾燥した生活環境にいる場合
- 粉塵、薬品などが目に入りやすい環境にいる場合

【形状・構造及び原理等】

<レンズの素材、保存液の主成分>

ソフトコンタクトレンズ分類: グループ I

構成モノマー: HEMA、EDMA

着色剤: フタロシアニン系着色剤、トリフェノジオキサン系着色剤、
金属酸化物系着色剤

紫外線吸収剤: ベンゾフェノン系紫外線吸収剤

保存液の主成分: 塩化ナトリウム

原理: 眼の前面に直接装着することにより視力を補正する(頂点屈折力0D以外のもの)。また、眼角膜上に置くと着色域(デザイン部分)が虹彩に一致して眼の外観(色、模様、形)を変えることができる。さらに、視力を確保するため、瞳孔部にあたる部分にはデザインがなされていない。

含水率: 38% 酸素透過係数: $9.23 \times 10^{-11} (\text{cm}^2/\text{sec}) \cdot (\text{mLO}_2/\text{mL} \cdot \text{mmHg})$

【使用目的・効能又は効果】

視力補正、および虹彩又は瞳孔の外観(色、模様、形)を変えること。

【使用方法等】

本品は終日装着用レンズです。眠るときは必ずはずしてください。また、はずした時は必ずレンズケアを行ってください。ケアの際は必ず化学消毒剤を使用してください。眼科医の指示に従い、開封後1ヶ月以内に新しいレンズと交換してください。

<レンズを取り扱う前に>

鏡を見て自分の目に目ヤニや充血がないか確認します。ツメは短く切り、先端を丸くなめらかにしておきます。手や指を石けんでよく洗い、石けんが残らないようによくすすいでください。

<レンズと包装容器の確認>

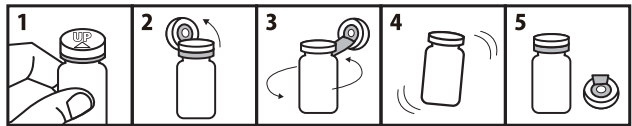
開封前にレンズと包装容器に異常がないか確かめてください。異常がある場合には開封せずに、裏面【お問い合わせ先】までお問い合わせください。

<レンズの取り出し方・ブリスターパック>

1. ホイルをはがす前に容器を軽く振り、レンズが保存液の中に入っているか確かめてください。
2. 容器とホイルをしっかりと持ち、一旦ホイルを真上に引き上げるように少しはがしてから、保存液が飛び散らないようにゆっくり残りはがします。(容器を切り離す際やホイルをはがす際に、ホイルや容器のふちで手を切らないように注意してください)
3. 保存液に入さし指を入れ、容器のカーブに沿うようにして指の腹でレンズをすくい上げます。(このときツメで表面にキズをつけないように注意してください)

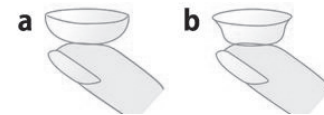
*<レンズの取り出し方・バイアル瓶>

1. レンズが瓶の中に1枚入っていることを確認し、上フタに表示されている△の位置を確かめてください。(1参照)
2. △の部分で上フタを押し上げてめくります。(2参照)
3. 2の状態のまま、上フタをどちらかの方向へ一周回しながらはずします。(3参照) アルミの切り口で指や手を切らないよう注意してください。
4. ゴム栓をはずし、瓶を軽く揺らしてレンズを浮遊させ、手の平やレンズケースへ保存液ごと流し出します。(4参照) レンズが瓶内に残る場合は指などで無理に取ろうとせず、保存液を瓶へ入れ直して上記方法を繰り返してください。
5. 3の途中で誤って上フタを取ってしまった場合は手や指で無理にはがそうとせず、ペンチなどの工具でアルミの切り口をつまみ、ゆっくり回しながらはずしてください。



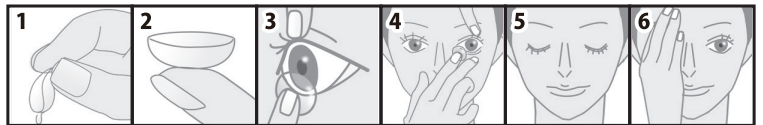
<レンズの確認>

1. レンズに異物の付着、キズ、破損、汚れ、変形、変色などが確認してください。(レンズに異常があるまま装着すると、目に障害を与える原因となりますので、絶対に使用しないでください)
2. レンズを指の上のせ、表裏を確認してください。レンズを裏側にして装着すると異物感があったり、はずれやすくなります。
3. 左右を間違えると適切に視力が得られない場合があります。(視力補正用の場合)



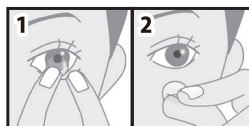
- a. 正常な場合自然なカーブになります。
- b. 裏返しだと外側を向いてしまいます。

<レンズのつけ方>



1. レンズのふちをつまみ、上下に軽く振り、水分を切ります。
2. 利き手の人さし指の先に、レンズをそっとのせ、正常な形状であることを確認します。
3. もう一方の手の人さし指で上まぶたのまつ毛の生え際を上方に引き上げ、レンズをのせた方の手の中指を下まぶたのまつ毛の生え際に当て、目を大きく開きます。
4. 人さし指にのせた本品を、角膜にゆっくりのせます。
5. ゆっくり何度かまばたきすると、レンズが角膜上で安定します。
6. もう一方の目を手でかくし、レンズが正しく装着されてよく見えるかどうか確認します。
7. もう一方の目にも同じ方法でレンズを装着します。

<レンズのはずし方>



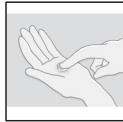
1. 利き手の中指で下まぶたを引き下げながら、人さし指の腹でレンズを角膜より少し下にずらします。
2. その状態のまま、利き手の親指と人さし指の腹でレンズの下方をつまんで取り出します。

※レンズをつまむ際に指先やツメが直接目にふれないようにしてください。目をキズつける場合があります。また、レンズにツメを立てないように注意してください。

※無理にはがそうとすると角膜をキズつける恐れがありますので、ご注意ください。レンズが動きにくい場合は、ゆっくりまばたきを繰り返すか、コンタクトレンズ用の目薬を点眼してからはずすようにしてください。

<レンズケア>

1. レンズを目からはずした際は、必ずレンズのケアを行ってください。
2. ソフトコンタクトレンズ分類グループⅠに適合する**化学消毒剤でのみケアを行なってください**。煮沸消毒は行わないでください。
3. ケア用品以外（例えば水道水など）を使用してレンズケアは絶対にしないでください。
4. 化学消毒剤との適合性に関して、1ヶ月以上の安全性・有効性は確認できないため、同一レンズを1ヶ月以上使用しないでください。
5. ケア用品の使用によってレンズまたは目に異常を感じた場合は、直ちに使用を中止し、眼科医に相談してください。



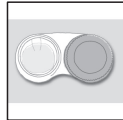
①洗浄

レンズを手のひらにのせ、洗浄液を数滴つけて、指の腹でやさしくこすり洗います。レンズにツメを立てないように注意しながら行ってください。



②すすぐ

こすり洗いが終わったら、洗浄液でレンズをよくすすぎ洗いしてください。



③消毒・保存

レンズケースに洗浄保存液を満し、レンズを完全に液中に沈めてください。そのまま決められた時間放置し、消毒してください。消毒後はそのままレンズを取り出し、装着してください。

※詳しくはケア用品の添付文書をよく読んで、正しいレンズケアを行ってください。
※この添付文書とケア用品の添付文書に差異がある場合は、ケア用品の添付文書に従ってください。

<装着スケジュール>

1. 装着時間には個人差があります。装着スケジュールについては眼科医に相談してください。
2. 眼科医に指示された装着時間を守り、眠るときには必ずはずしてください。
3. 1ヶ月以上装着を中止した場合は、眼科医に相談し、その指示に従って装着を再開してください。

<定期検査>

1. 快適にレンズを装着していても、眼障害が発生していたり、レンズにキズや汚れがついている場合があります。目の健康を保つために、必ず眼科医の定期検査を受けてください。
2. 装着を開始した日から、1週間後、1ヵ月後、3ヶ月後に眼科医の定期検査を受けてください。その後は3ヶ月ごとに、または眼科医の指示に従って定期検査を受けてください。

【使用上の注意】

<装着上の注意>

1. コンタクトレンズの装着・使用に関する眼科医の指示に従ってください。
2. 装着直後または装着中に痛みを感じた場合や、装着中にくもる・かすむ・ぼやけるなどの見え方の異常を感じた場合は、直ちにレンズをはずして眼科医に相談してください。
3. 装着中は目をこすらないでください。角膜をキズつけたり、レンズを破損することがあります。
4. レンズの乾燥の原因となりますので、空調や扇風機の風に目を長時間当てないでください。
5. 乾燥感が強い場合の目薬の使用については眼科医に相談してください。
6. レンズ装着中は眼科医から指示された目薬以外使用しないでください。
7. 洗剤や化学薬品などが目に入った場合は、直ちにレンズをはずして水道水で目を洗い流してから、レンズは装着せず眼科医の診察を受けてください。
8. ヘアスプレーなどを使う場合は、目を閉じた状態で使用してください。

<レンズ取り扱い上の注意>

1. レンズは薄く作られていますので、ツメを立てたり折り曲げたりしないよう取り扱いには十分注意してください。万一取り扱い中にキズがついたり、破損した場合は使用しないでください。
2. 化粧品、ローション、石けん、クリーム、薬品、インク、染料、油類などをレンズにつけないよう注意してください。また、それらが付着したものは使用しないでください。
3. レンズを保存液から出したままにすると、乾燥しますのでご注意ください。また、一旦乾燥したレンズは使用しないでください。

<その他の注意>

1. レンズの着色部分によって見えにくく感じられることがあります。また、視野周辺部に違和感を感じる場合があります。慣れるに従って軽減されますが、長く続く場合は眼科医にご相談ください。
2. レンズに破損や異物付着などの不具合がないか、必ず事前に確認してください。万一不具合があった場合は装着しないでください。
3. レンズには金属製の色素を使用しているため、金属アレルギーの方は眼科医にご相談ください。また、MRI検査を受ける際は必ずレンズをはずしてください。
4. レンズに目が慣れるまでは、車の運転や機械類の操作はしないでください。万一運転中や操作中に異常を感じた場合は、安全を確認して、運転、操作を中止してください。
5. レンズの紛失や装着中止時の対応として、目にあったメガネをいつも用意してください。
6. アレルギー疾患がある方は、必ず眼科医に相談し、指示を受けてください。
7. 体調が悪いときには無理な装着をお控えください。
8. 水泳の際は、レンズをはずしてください。
9. レンズを他人に貸したり、他人のレンズを使用しないでください。
10. 毒性や刺激性の蒸気が存在する場所及びホコリの多い場所では、装着しないでください。
11. 激しいスポーツなどにより、レンズがずれて視界を妨げることがありますので、ご注意ください。
12. 開封後長期間使用しない場合でも、化学消毒剤で毎日ケアしてください。
13. レンズをなめたり、口の中に入れてください。
14. レンズの加工や改造は行わないでください。

【装着中の症状と対処方法】

<レンズの装着を開始した直後>

レンズに慣れるまでは、軽い異物感、軽い充血、ものが見えにくい、目のかゆみなどが起こることがあります。このような症状は、個人差もありますが、レンズに慣れるに従って解消される場合が殆どです。しかし、このような症状が強かったり長引く場合は、無理をせず早めに眼科医の検査を受けてください。

<装着に慣れてから>

レンズの装着に慣れてから、次のような症状がある場合は表の対処方法を参考にしてください。それでも改善されない場合は、装着を中止し直ちに眼科医の検査を受けてください。

症状	考えられる原因	対処方法
異物感や痛み	レンズを裏返しに装着	レンズをはずして確認し、保存液ですすいでつけなおす。
	レンズの汚れ	こすり洗い、すすぎ洗いを行い、改善しない場合は新しいレンズに取り替える。
	ホコリなどの異物	新しいレンズに取り替える。
	レンズのキズや破損	眼科医の診察を受け、指示に従う。
目が充血する	眼疾患	眼科医の診察を受け、指示に従う。
	レンズの汚れ	こすり洗い、すすぎ洗いを行い、改善しない場合は新しいレンズに取り替える。
	長時間の装着	レンズをはずし、様子を見る。装着を控える。
目がかゆい	睡眠不足、体調不良	眼科医の診察を受け、指示に従う。
	ドライアイ	眼科医の診察を受け、指示に従う。
	花粉症などのアレルギー	眼科医の診察を受け、指示に従う。
目が乾く	ドライアイ	眼科医の診察を受け、指示に従う。
	眼疾患	眼科医の診察を受け、指示に従う。
	レンズの乾燥	眼科医に指示されたソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼する。
	空気の乾燥(冷暖房など)	長時間にわたるディスプレイ画面の注視
目ヤニが多く出る	ドライアイ	眼科医の診察を受け、指示に従う。
	眼疾患	眼科医の診察を受け、指示に従う。
目がかすむ	レンズの汚れ	こすり洗い、すすぎ洗いを行い、改善しない場合は新しいレンズに取り替える。
	レンズの乾燥	眼科医に指示されたソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼する。
	体調不良	レンズをはずし、様子を見る。装着を控える。
	長時間の装着	眼科医の診察を受け、指示に従う。
	視力低下	眼科医の診察を受け、指示に従う。
レンズがずれる・はずれる	眼疾患	眼科医の診察を受け、指示に従う。
	レンズを裏返しに装着	レンズをはずして確認し、保存液ですすいでつけなおす。
	レンズの乾燥	眼科医に指示されたソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼する。
	レンズが目にあっていない	眼科医の診察を受け、指示に従う。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法：直射日光を避け、常温常湿で保管してください。
有効期間：レンズ容器（一次包装）とパッケージ（二次包装）に記載しています。
（例：EXP 2015/01 = 有効期間は2015年1月まで）
表示された有効期間を過ぎたものは使用しないでください。
耐用期間：開封後1ヶ月以上使用しないでください。

【包装】

1パッケージ1枚又は2枚入り

<包装に記載されている表示について>

DIA	直径	STERILE	高圧蒸気滅菌済
BC	ベースカーブ	⚠	添付文書をお読みください
D	頂点屈折力（レンズ度数）	紙	容器包装識別表示：紙
Lot No.	製造番号	📦	容器包装識別表示：プラスチック
EXP	有効期間		

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

<製造販売業者>

JPS株式会社
東京都豊島区南池袋二丁目31番5号 南大和ビル TEL：03-5992-0760

<製造業者>

Tissue Creative Science Co.,Ltd（韓国）

【お問い合わせ先】

<製品に関するお問い合わせ>

レンズの品質には万全を期しておりますが、万一、不具合が認められた場合、そのレンズは決して使用せず、製造販売業者までご連絡ください。
受付時間▶9:30~17:30（土・日・祝祭日を除く）

<症状に関するお問い合わせ>

レンズの装着に伴う目の症状などについては、処方を受けた眼科医にご相談ください。